

抄録：

手術中の手袋穿孔 - 皮膚汚染の保護における
手袋の一重装着 対 二重装着

著者：S Thomas; M Agarwal; G Mehta

背景

手袋が穿孔すると、手術スタッフが患者の血液や体液にさらされる可能性があり、感染の危険性が上昇する。この研究の目的は、手袋の穿孔率を調査し、一重装着と比較して、手袋の二重装着が汚染を減少させるか否かを判断することである。

概要

手袋の一重または二重装着を 66 件の手術にランダムに割り当てた。術者と第一助手が着用した合計 396 枚の手袋について、穿孔の有無を調べた。未使用の 40 双の手袋も対照群として調べた。血液や体液の付着について手も調べた。

結果

穿孔があった二重装着の 22.7% および穿孔があった一重装着 42.1% で皮膚汚染が発生した。二重装着では穿孔は 32 箇所であった（アウター手袋で 22 箇所、インナー手袋で 10 箇所）。アウター手袋に発生した 22 箇所の穿孔のうち、インナー手袋と同じ場所に穿孔があったのは 4 箇所のみであり、アウター手袋の穿孔の 82% においてインナー手袋の汚染を防止するという結論に至った。全穿孔の 83.3% は、手術スタッフに気付かれることなく発生していた。

結論

視認できる皮膚汚染において、二重装着は一重装着よりも医療従事者の保護を強化する。また、二重装着を繰り返し実施すると、ほとんどの外科医に二重装着が受け入れられたことも示された。

参考文献 1. Thomas et al., Intraoperative glove perforation – single versus double gloving in protection against skin contamination *Postgrad Med J* 2001;77:458-460; <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC1760980/pdf/v077p00458.pdf>

この抄録は Ansell Healthcare LLC によって執筆され、提供されています。Ansell Healthcare は、発表された研究をできる限り正確に要約する努力を払っていますが、要約の正確さについての表明は行いません。追加情報については、実際の調査結果を参照してください。

Ansell Healthcare Products LLC
111 Wood Avenue, Suite 210
Iselin, NJ 08830 USA
Tel: + 1 732.345.5400
Fax: + 1 732.219.5114

www.ansell.com

Ansell